

2変数完全数問題 $b =$ 奇数解 (素因子数 5) の考察

高嶋耕司

2020年6月9日

2変数完全数問題は、自然数 a, b がどのようなとき次式を満たすかという問題である。

$$\frac{\sigma(a)}{a} = \frac{b}{\varphi(b)} \quad (1)$$

ここで、 $\sigma(n)$ はユークリッド関数 (自然数 n のすべての約数の和)、 $\varphi(n)$ はオイラー関数 (自然数 n 以下で n と互いに素な自然数の個数) である。

b が奇数で素因子数が 1~4 のときの b 解を定理 1~4 に示す (証明は略す)。ただし、 $b/\varphi(b)$ は b の素因子のべきによらないので、簡単のため、 b の素因子のべきは 1 とする。

定理 1 $b = p$ (p : 奇素数) のとき、等式 (1) の b 解は 3 に限られる。

このとき、式 (1) の解は、 $a = 2, b = 3$ が唯一となる。

定理 2 $b = pq$ (p, q は奇素数, $p < q$) のとき、等式 (1) の b 解は $3 * 5$ または $3 * 7$ 。

このとき、式 (1) の解は、 $a = 2^3, b = 3 * 5$ と $a = 2^2, b = 3 * 7$ に限られる。

定理 3 $b = pqr$ (p, q, r は奇素数, $p < q < r$) のとき、等式 (1) の b 解は $3 * 5 * r$ 。

このとき、式 (1) の解を (a, b) で表すと、次の 3 解がわかっている。

$$(2^9 * 31, 3 * 5 * 11), (2^7, 3 * 5 * 17), (2^4, 3 * 5 * 31)$$

$17 \leq r$ の解は、2 番目と 3 番目に示した解以外にはない。一方、 $7 \leq r \leq 13$ の解は、1 番目に示した解以外にあるか否か、不明である。

定理 4 $b = pqrs$ (p, q, r, s は奇素数, $p < q < r < s$) のとき, 等式 (1) の b 解は $3 * 5 * r * s$ に限られる.

このとき, 式 (1) の解を (a, b) で表すと, 次の 2 解がわかっている.

$$(2^{10} * 23, 3 * 5 * 11 * 89), (2^{15}, 3 * 5 * 17 * 257)$$

$b/\varphi(b) < 2$ という条件下では, 2 番目に示した解以外にはない. 一方, $b/\varphi(b) \geq 2$ の解は, 1 番目に示した解以外にあるか否か, 不明である.

これから, 奇数 b の素因子数が 5 の場合を議論する.

定理 5 $b = pqrst$ (p, q, r, s, t は奇素数, $p < q < r < s < t$) のとき, 等式 (1) の b 解は $3 * 5 * r * s * t$ に限られる.

証明: $p \geq 5$ で式 (1) が成り立つと仮定する.

$$\text{右辺} = \frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{5}{4} * \frac{7}{6} * \frac{11}{10} * \frac{13}{12} * \frac{17}{16} = \frac{17017}{9216}$$

$$a = 2^e u \quad (e \geq 5, u : \text{奇数})$$

$$\text{左辺} = \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^6 - 1}{2^5} = \frac{63}{32} = \frac{18144}{9216}$$

となり矛盾する. よって, $p = 3$ に限られる.

$p = 3, q \geq 13$ のとき, 式 (1) が成立すると仮定する.

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{13}{12} * \frac{17}{16} * \frac{19}{18} * \frac{23}{22} = \frac{96577}{50688}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^6 - 1}{2^5} = \frac{63}{32} = \frac{99792}{50688}$$

となり矛盾する. よって, $5 \leq q \leq 11$.

$p = 3, q = 11$ のとき, $a = 2^e 5^k u$, ($e \geq 5, k \geq 1, u : \text{奇数}, u \nmid 5$) となり,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{11}{10} * \frac{17}{16} * \frac{19}{18} * \frac{23}{22} = \frac{81719}{42240}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^6 - 1}{2^5} * \frac{6}{5} = \frac{378}{160} = \frac{99792}{42240}$$

で矛盾する. よって, $5 \leq q \leq 7$.

以下, $p = 3, q = 7$ の場合に式 (1) が成立すると仮定したときの矛盾を導く.

$r \geq 23$ のとき, $a = 2^e u$, ($e \geq 5, u$: 奇数) と表せるので,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{23}{22} * \frac{29}{28} * \frac{31}{30} = \frac{20677}{10560}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^6 - 1}{2^5} = \frac{63}{32} = \frac{20790}{10560}$$

となり矛盾する. よって, $11 \leq r \leq 19$.

$r = 19$ のとき, $a = 2^e 3^k u$, ($e \geq 5, k \geq 2, u$: 奇数, $u \nmid 3$) と表せるので,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{19}{18} * \frac{23}{22} * \frac{29}{28} = \frac{12673}{6336}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^6 - 1}{2^5} * \frac{3^2 + 3 + 1}{3^2} = \frac{91}{32} = \frac{18018}{6336}$$

となり矛盾する. よって, $r = 19$ は解になり得ない.

$r = 17$ のとき, $a = 2^e u$, ($e \geq 8, u$: 奇数) と表せるので, $s \geq 29$ ならば,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{17}{16} * \frac{29}{28} * \frac{31}{30} = \frac{15283}{7680}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^9 - 1}{2^8} = \frac{511}{256} = \frac{15330}{7680}$$

となり矛盾する.

$r = 17, s = 23$ のとき, $a = 2^e 11^k u$, ($e \geq 8, k \geq 1, u$: 奇数, $u \nmid 11$) となり,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{17}{16} * \frac{23}{22} * \frac{29}{28} = \frac{11339}{5632}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^9 - 1}{2^8} * \frac{12}{11} = \frac{1533}{704} = \frac{12264}{5632}$$

で矛盾する.

$r = 17, s = 19$ のとき, $a = 2^e 3^k u$, ($e \geq 8, k \geq 2, u$: 奇数, $u \nmid 3$) となり,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{17}{16} * \frac{19}{18} * \frac{23}{22} = \frac{52003}{25344}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^9 - 1}{2^8} * \frac{3^2 + 3 + 1}{3^2} = \frac{6643}{2304} = \frac{73073}{25344}$$

で矛盾する. よって, $r = 17$ は解になり得ない.

$r = 13$ のとき, $a = 2^e 3^k u$, ($e \geq 6, k \geq 1, u$: 奇数, $u \nmid 3$) と表せるので,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{13}{12} * \frac{17}{16} * \frac{19}{18} = \frac{29393}{13824}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^7 - 1}{2^6} * \frac{4}{3} = \frac{127}{48} = \frac{36576}{13824}$$

となり矛盾する. よって, $r = 13$ は解になり得ない.

$r = 11$ のとき, $a = 2^e 5^k u$, ($e \geq 5, k \geq 1, u$: 奇数, $u \nmid 5$) と表せるので,

$$\frac{b}{\varphi(b)} \leq \frac{3}{2} * \frac{7}{6} * \frac{11}{10} * \frac{13}{12} * \frac{17}{16} = \frac{17017}{7680}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^6 - 1}{2^5} * \frac{6}{5} = \frac{189}{80} = \frac{18144}{7680}$$

となり矛盾する. よって, $r = 11$ は解になり得ない.

結局, $p = 3, q = 7$ のとき b 解を構成し得る r は存在せず, q が取り得る値は 5 に限られる. したがって, b 解は $b = 3 * 5 * r * s * t$ に限られる. (証明終)

$b = 3 * 5 * r * s * t$ の形となる b 解の r が取り得る値は, 7, 11, 13, 17 に限られる (証明は割愛する).

ここで, 議論する範囲を限定し, $b/\varphi(b) < 2$ という条件をつける. この条件下では, 解になり得る r は 17 に限られる ($\because r$ が 7, 11, 13 の場合, 必ず $b/\varphi(b) > 2$ となる).

$p = 3, q = 5, r = 17$ のとき, $b/\varphi(b) < 2$ の条件下で, 解の候補になり得る s の値と, その s に応じた t の範囲は,

$$s = 257, \quad 65537 \leq t \leq 131071$$

$$s = 409, \quad 683 \leq t \leq 811$$

に限定される (証明は割愛する).

$s = 409$ のとき, 解になり得る素数 t の候補は $683 \leq t \leq 811$ の範囲に 18 個あるが, いずれの t も $b/\varphi(b)$ と $\sigma(a)/a$ の大きさを評価した際に 矛盾が導かれ, 解にならない.

$s = 257$ のとき, $t = 65537$ ならば, $a = 2^e u$, ($e \geq 31, u$: 奇数) と表せるので,

$$\frac{b}{\varphi(b)} = \frac{3}{2} * \frac{5}{4} * \frac{17}{16} * \frac{257}{256} * \frac{65537}{65536} = \frac{4294967295}{2147483648} = \frac{2^{32} - 1}{2^{31}}, \quad \frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^{32} - 1}{2^{31}}$$

となり, 矛盾しない. 不等式の等号は, $e = 31$ かつ $u = 1$ のとき成立する. したがって, $a = 2^{31}$, $b = 3 * 5 * 17 * 257 * 65537$ は式 (1) の解となる.

また, $s = 257$ で, $t = 131071$ ならば, $a = 2^e u$, ($e \geq 16, u$: 奇数) と表せるので,

$$\frac{b}{\varphi(b)} = \frac{3}{2} * \frac{5}{4} * \frac{17}{16} * \frac{257}{256} * \frac{131071}{131070} = \frac{3 * 5 * 17 * 257}{2 * 4 * 16 * 256} * \frac{131071}{2 * 3 * 5 * 17 * 257} = \frac{2^{17} - 1}{2^{16}},$$

$$\frac{\sigma(a)}{a} \geq \frac{2^{17} - 1}{2^{16}} = \frac{131071}{65536}$$

となり, 矛盾しない. 不等式の等号は, $e = 16$ かつ $u = 1$ のとき成立する. したがって, $a = 2^{16}$, $b = 3 * 5 * 17 * 257 * 131071$ も式 (1) の解となる.

なお, $s = 257$ で, $65537 < t < 131071$ のときは, いずれの素数 t も, $b/\varphi(b)$ と $\sigma(a)/a$ の大きさを評価した際に 矛盾が導かれる.

結局, b が素因子数 5 の奇数で, $b/\varphi(b) < 2$ の場合, 式 (1) の解を (a, b) で表すと, 次の 2 解に限られる.

$$(2^{31}, 3 * 5 * 17 * 257 * 65537), (2^{16}, 3 * 5 * 17 * 257 * 131071)$$

以上